FRSKY　TFR6　　FUTABA　2.4GHz　FASST互換受信機　空用7CH仕様　日本語説明書

双葉製FASST対応送信機
・18MZ　・14MZ　・12Z　・14SG　・12FG　・8FGsupper　・8FG
・FF10　・FF9　・FF8　・FF7　・6EX　・TM8　・TM10　・FX40　・FX22　・FX20

特徴
・双葉FASST送信機にて1CH～7CHで動作します。
・アナログサーボ＆デジタルサーボどちらでも動作します。
・HVハイボルテージサーボにも対応

仕様
・電波到達距離　1000m（空中）
・サイズ　横37mmx縦22mmx高8mm
・重量　7.8g
・作動電圧　3.5V～10V

修理
修理希望の場合は　http://www.hobby.co.jp/frsky/　にお問い合わせ下さい。

製品保証
・初期不良交換対応は購入日から２日間です。
・メーカー保証は購入日から1年間です。※中国までの往復送料はお客様負担となります。
・メーカー保証希望の場合は購入日が分かるレシートを添えて下記メーカー住所宛にご依頼下さい。
・メーカー保証は自然に故障した場合のみの対応で、メーカースタッフの検証後の対応となります。
人為的なミスにより発生した故障については修理扱いとなります。
人為的なミスの例
・クラッシュなどにより受信機ケースが大きく傷ついたり、破損したりするほどの衝撃が加わっている場合。
・水や燃料などが侵入して破損している場合。
・電源が作動電圧の範囲を超えて損傷している場合。
・電源やESCやサーボの接続を誤り基盤が損傷している場合。

免責
点検、整備、保守は全て使用者の責任となります。
この製品を使用した事による結果についてはいかなる責任も負いかねますので、ご了承下さい。

无锡睿思凯科技有限公司
地址：无锡市滨湖区山水城科教园慧泽路软件园B区3号楼
电话：(86)0510-85187718
传真：(86)0510-85187728

FrSky Electronic Co., Ltd.
Add: No. 3, Software Zone B, Huize Road, Shanshuicheng Science & Education Industrial Park, Wuxi, 214081, Jiangsu, China
Tel: (86) 0510-85187718
Fax: (86) 0510-85187728

Terms of shipping: From Wuxi, China to Japan by EMS

1) Packing: 1set/paper case
2) Payment: 100% T/T before dispatch
3) After service: FrSky's product can be refunded if there is something wrong with it.
FrSky's product is guaranteed of the replacement for one year,excluding man-made damage.

FRSKY　TFR6　7CH仕様　取扱説明書

このたびはお買い上げありがとうございます。
この商品は当社にて全品動作確認しております。
互換受信機の取扱方法および注意点を記載しております。
最後までよくお読みになって、安全にご使用下さい。

受信機の準備

GPモデルに使用する場合の電源は、どのCHに接続してもOKです。使わないあいたCHをご利用下さい。
2.4GHz受信機は電源の確保が非常に重要です。
サーボを最大負荷状態にしても受信機電圧が3.5V以下にならないように電源を確保して下さい。
FUTABA純正受信機、JR純正受信機の全ての2.4GHz受信機に起きることですが、
受信機電源に不調があると、瞬間的な電圧低下により動作が途絶えてしまうことがあります。
電圧が回復しても、クリスタル式受信機と違い瞬時にリスタートはできません。
2.4GHz受信機は送信機の信号を捕捉して再動作するまで約２秒程度かかります。
電圧低下によるトラブルが発生した場合は、FUTABA　2.4G受信機用キャパシターを使用して下さい。
キャパシターを使用しても解決できない場合は、電源周りに致命的なトラブルが発生しています。
瞬低電が起きる主な原因
・コネクターの接触不良、スイッチの接触不良。
・EPモデルではモーターに大電流が流れた時の電圧の急激な低下にアンプBECが対応できていない。
・EPモデルではサーボ負荷時にアンプのBEC電源の容量不足、劣化、故障。
・GPモデルではサーボ負荷時にバッテリーの電力不足、電源レギュレターの容量不足、劣化、故障。

使用方法

●まず最初に、送信機と受信機をペアリングさせます。
1．送信機のスイッチをONにします。
2．受信機のF/S(SETUP)ボタンを押しながら受信機電源のスイッチをONにします。
3．受信機のF/S(SETUP)ボタンを放します。
約3秒程度でペアリングが完了し、送信機で操作可能になります。
一度記憶したペアリングは、電源を切っても記憶されます。
同じ送信機で使われる場合は、次回からペアリング操作は不要です。
※送信機を交換された場合は、再度ペアリングを行って下さい。
※送信機の7CHモード、10CHモード、MULTI-CHモードを変更した場合は、再度ペアリングを行って下さい。

●F/Sフェイルセーフ機能について
6EX＆FF7＆TM-8＆TM-10をご使用の方
　1．送信機のスイッチをONにします。
　2．受信機のスイッチをONにします。
　3．F/Sを設定したいポジションに送信機を操作してサーボを移動させてください。
　4．F/Sボタンを1秒間押します。
　F/Sボタンが押された時のポジションがF/Sポジションとして記憶されます。
　一度記憶したF/Sポジションは、電源を切っても記憶されます。

18MZ＆14MZ＆14SG＆12Z＆12FG＆8FGsuper＆8FG＆FF10＆FX40＆FX22＆FX20をご使用の方
　10CHモード及びMULTI-CHモードで使用する場合に限り送信機のF/Sプログラムにて設定可能です。
　EPモデルに使用される方はバッテリーF/S機能はできるだけOFFにして使用しないで下さい。
　モーターに大電流が流れた時の電圧の急激な低下にアンプBECが対応しきれない場合、
　受信機電源が電圧低下してバッテリーF/Sが働いてしまい、通常飛行の妨げになる場合があります。

●受信機の搭載位置について
受信機は温度が５０度を超える環境ではレスポンス低下または動作停止してしまう場合があります。
アンプ・モーター周辺やエンジン・マフラー周辺を避けて、風通しがよい場所に搭載して下さい。
アンテナはダイバーシティタイプですので、感度の良いアンテナを自動的に選びながら動作します。
アンテナは受信機本体に対し９０度程度開いた状態で設置して下さい。
カーボン胴体内に受信機を搭載する場合はアンテナ先端３cmの裸部分が胴体の外に出るように
アンテナを設置して下さい。

注意

●初めて受信機を搭載しての初フライトの前にこれだけはチェックして下さい。
地上にて１５分程度サーボに適度な負荷を掛けて動かし続けて、問題なく動作することを確認して下さい。
トラブルが発生した場合は状況に応じて対策して下さい。

●安全なフライトのために、飛行前に毎回チェックして下さい。
・受信機バッテリー電圧チェック
・距離テスト
・サーボ負荷テスト